

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

あの手この手

10月号
2014



[活動分野]シリーズ(7)
～人権擁護・平和推進～
4ページをご覧ください。

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

大和市民活動センター[拠点やまと] 第87号 2014年10月1日発行



イラスト&メッセージ 田中 龍太

大和市に暮らす人(主に子供たち)に大和市ならではの良さに気付いて(発見して)欲しい。そしてそれはそこで暮らしていくなかで宝物のような思い出になるはず。というメッセージを込めました。

「YAMATO イラストレーションデザインコンペ」作品シリーズ その5「希望の発見」

「YAMATO イラストレーションデザインコンペ」は市民活動団体「ドラマティックカンパニーYAMATO50」が大和市文化振興課と協働事業で実施しています。若者の発表活動をサポートするとともに、大和をイラスト溢れるまちに変えていくことを目的に、平成23年度から実施している公募型のコンペです。「あの手この手」では、来年3月号までの表紙に10回シリーズで入賞作品を紹介します。



「センター」のモットー

あの手この手

楽しいことがあるのなら
みんなで一緒に楽しもう
あの手この手で考えて
あの手この手で楽しもう
困ったことがあるのなら
みんなで一緒に解決しよう
あの手この手で考えて
あの手この手で解決しよう
あの手この手の作戦会議
あの手この手で問題解決



10周年記念交流会を開催します

「課題は未来につながる」

～これからの10年を考える～

11月22日(土)13:00～16:00

大和市勤労福祉会館 3F ホール

「センター」設立に関わってくださった方たち、現在も関わっている人たちで思いを共有し、交流して市民活動をつなげ、これからの10年を語り合しましょう。

当日、センターは休館します

<今月号掲載>

- 「カコーフェスタの季節ですよ」「イーパツ PC リユース寄贈団体決定」p.2
- 「市民活動インターンシップを受け入れました」「市民活動の現場から」p.3
- 「FM やまと～やまとっ☆みつけた～」 「活動分野シリーズ」p.4

*「あの手この手」は大和市民活動センターのHPではカラーでご覧になれます。

今年は大和市民活動センター設立10周年

カッコーフェスタの季節ですよ 第9回市民活動団体交流まつり

11/8(土)・9(日)
10:00～16:00

市民活動団体の活動を市民の皆さんにPRするお祭りです。

展示、販売、実演など参加方法はいろいろ。

参加希望の団体は申込みしてください。

アイデア満載のお祭りにしましょう！

今年も
きてね！



カッコーフェスタのキャラクター
カッコちゃん

どんなワークショップ
があるのかしら？

どれに参加
しようかな



＜ワークショップ参加団体＞ 各団体企画の1時間！期待してま～す
「大和南京玉すだれの会」「おりがみサークル」「NPO法人ナルク横浜」
「食のアトリエ・地域通貨クラママ・Give & Take Plus」
「大和市地域活性化実行委員会」「一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク」
「NPO法人ピープウ・ラボ アトリエピッピー・おんがくサークル スマイル」「介護のハッピー合同会社 デイサービスハッピー鶴間」

「企画・打合せ会」を開催します

10/ 7(火)・10/16(木)・10/20(月)
10/31(金)・11/ 5(水)

いずれも 14:00～16:00

都合のよい日に参加して

どんどん意見を出してください。

*参加団体には打ち合わせ記録をメール連絡

◆◆◆◆◆ 第10回かながわイーパーツ リユースPC 寄贈プログラム 寄贈団体決定 ◆◆◆◆◆

8月31日(日)小田原市民会館6FはイーパーツPC寄贈60団体と県内の8市民活動センター、イーパーツや関係者を入れて100名を超す賑やかな寄贈式になりました。大和市民活動センター登録団体では、活動内容の審査から下記3団体へPCが2台ずつ贈られました。参加団体の活動を、いつも感心して聞いています。また、支援団体側のイーパーツの活動報告や講習も、ボランティア仲間にとっては、為になる、学べる発表



だと期待しながら毎回楽しみにしています。参加団体のPRちらしをズラッと並べて「プチちらしコンテスト」。一息ついて地元伝統芸「ういろう売り口上」に拍手がわき、みんな揃って「はい、パチリ！」。

このプログラムを通して、市民活動団体間の交流、そして神奈川県下の市民活動センター、「イーパーツ」・支援企業の多くの皆さんと話す機会を持ったことをありがたく思います。(担当 望月則男)

◆◆ チームピースチャレンジャー ◆◆

私たちは途上国の貧困の問題を、寄付をするのではなく、途上国の子どもや女性たちが自分の力で自立した生活が出来るように支援活動を行っているNGO団体です。年に2回現地を訪問し、国内では現地の様子を報告する報告会、写真展、上映会、講演会、フェアトレード物産展等を行い、みなさんに途上国の現状をお伝えしています。私たちTPCにとって、現地の状況をお伝えするのにPCは不可欠です。団体のデータ保持と映像用のPCに分けて使用できるとに感謝しています。(代表 蔵田えり)

◆◆ 点図サークルオーロラ ◆◆

視覚障害のある方に、点図作成ソフト「エーデル」を使って、触る図形(絵本・回路図・挿絵・地図)や、独自に作成した数字とカナのフォントで作ったカレンダーと日めくり等を作るのにPCは欠かせません。まだ使えるPCをリユースすることでは大変意義のあることで、こうして提供していただけることは、ほんとうにありがたいことです。ただ、勝手なことを言って申し訳ありませんが、頂ける機種などが予めわかると、使い勝手によって選べるようになるので、助かると思いました。(報告書より抜粋)

「センター」のある日ある時

9月20日(土)曇り

「大和の観光資源を発掘、企画する会」の上田康史さんが立ち寄り、大和市のトイレ事情調査ボランティアの調査員たちと打ち合わせ。既に鎌倉・藤沢では実績があり、今回は大和市での調査となりました。立派な『鎌倉綴り』をめくると、鎌倉の神社仏閣案内と一緒に「トイレ」「灰皿」「喫煙禁止区域」「歴史メモ」など盛り沢山。聞くとその撮影・製本まで自作だとか。大和市版の発行が待たれます。(N.M)

◆◆ WE21 ジャパン大和 ◆◆

ショップのPCのインターネット接続工事で年代物のPCでは容量が足りない事を指摘されました。新しいPCの買い替えを検討中のところへ、PCを譲ってもらえるという情報を市民活動センターのお便で知りました。すぐに申し込んだところ、2台を頂くことになりました。日頃から経費節約を心がけているNPO法人にとっては、とても有り難いシステムだと感謝しています。頂いたPCは、早速会計処理の面で活用が始まっています。これから多方面で活用していきたいと思えます。(代表 小宮千菊)



爽やかな風が吹き抜けました ～市民活動インターンシップを受け入れて～

日経新聞が毎年実施している全国の女子大学を対象とした地域貢献度ランキングで3年連続1位の相模女子大学の学生に、これから社会に出て一市民として地域活動に参加することの意義や公務員という職業について理解を深めて頂くために実施しました。

学生3人は盛り沢山のカリキュラムを大変意欲的に取り組んでくれました。市民活動課としても学生を引率する際に、様々な市民活動の現場を経験できました。インターンシップの学生を通じて、市民活動団体と交流を深める大変良いきっかけとなりました。(市民活動課 松原正明)

穏やかな感じの相模女子大生3名が、「センター」に登録している3団体を訪問。それぞれの活動を見学し、活動の目的・内容・思いなどの説明を詳しく聞きました。

視覚障害者のサウンド・テーブルテニスに参加し、一緒に競技を体験。競技の楽しさやボランティアの協力なしでは競技ができない状況を知りました。視覚障害者の交流会にも参加。最後に「若い方たちが、私たち障害者を理解してくれることが何より嬉しい」と、代表の高橋さんが話されました。また市民活動課の職員が初めて来てくれたと大喜び。市民活動課と「センター」との協働の関係を実感しました、との感想も述べられました。(櫻井貞代)

本音が言えたかな？ (インターンシップ報告書より)

【市役所にて】健康栄養学科(M.Y)

実際の公務員の方の働き方を見て、学ぶことができ、とても参考になりました。

【市民活動センターにて】

普段から自分が参加できるような活動が沢山あるのだと知りました。市民活動団体のみなさんが快く受け入れてくれて、とてもうれしかったです。今後も機会があれば是非、市民活動センターの活動に参加していきたいと思いました。



【市役所にて】メディア情報学科(A.T)

女性の課長は数人いるとのことですが、市議会を傍聴して女性の部長がいないことが分かり、これから少しずつでも女性の部長が増えればと思いました。

【市民活動センターにて】

家の近所に盲学校があるので、道で白杖を持った方をよく見かけます。街でも目が見えない人が困っていたら、積極的に声をかけ、助けになればと思いました。

【市役所にて】管理栄養学科(R.T)

市役所の栄養士の仕事は栄養関係のみでなく、イベントの企画など、様々な仕事をしていることを知りました。

【市民活動センターにて】

ボランティアは初めての経験でしたが、もっと色々な方と触れ合っていきたいと感じたので、これから積極的にボランティア活動に参加しようと思いました。これからは、栄養の勉強だけで視野を狭くせず、色々なことを経験し、視野を広くしていこうと思いました。

市民活動の現場から その1

大和市地域活性化実行委員会主催

「恋するフォーチュンクッキー西鶴間～南林間 Ver.」

プロモーションビデオ完成お披露目会

90団体、500人が参加したプロモーションビデオがついに完成。23日(火・祝)、西鶴間コミセンでのお披露目会には、地域の人たちが30人程集まりました。「〇〇さんだ～」などと声上がり、顔の見える関係の温かさを感じました。

続いて、県・商業流通課まちづくりグループの鈴木博明さんの「高齢化だからこそできるまちづくり」の講演では、まちづくりは諦めないこと、足りないものは補えばよいこと、伝える努力が必要だということを学びました。その後の「まちの活性化と地域づくりコミュニティ会議」では、活性化に向けて、商店会の人、自治会の人から意見が出され、また、実行委員長からは秘策が披露されました。(M.I)

市民活動の現場から その2

大和市芸術文化振興会主催

『0歳児からのコンサート』

8月26日(火)10:30～ウィーンホールにて

10時前からウィーンホールは子どもとお母さんで大賑わい。この日は幼児も参加するので、いつもは演奏家を使用する舞台に、お昼寝できるようにと、ボランティアの高校生たちが柔らかいマットを敷き詰めました。幼児、お母さんが安心してコンサートを楽しめるように、あちらこちらに高校生が立ち、オムツ交換や授乳の場所などを案内しました。「森のくまさん」「パンダ・うさぎ・コアラ」など、サクソ四重奏に合わせて全員で歌ったり踊ったり、大盛り上がりでした。(S.S)

『オータムふれあいコンサート』

9月15日(月)14:00～ウィーンホールにて

ボランティアとして参加した高校生7名が、お年寄りの靴を整理したり、空いている席まで案内したりと、大変喜ばれました。お年寄りは、ハンドベルとピアノの音色にうつと。音楽家の歌声に感動の様子でした。「懐かしい歌も沢山あり、嬉しかった。」「みんなまで歌った“ふるさと”忘れません。」と話しながら帰途につかれました。高校生は楽器や絵画の移動、椅子の片付け、靴箱の整理まで頑張りました。

